

JCCA×JIA 協働シンポジウム

土木と建築の協働、その可能性を探る

第15回シンポジウム

AROUND 40 が考える
土木と建築の協働とその未来

JCCA（建設コンサルタンツ協会／土木・建築連携まちづくり専門委員会）とJIA（日本建築家協会／関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会）の協働活動は、2004年の景観法（美しい国づくり政策大綱）施行に合わせてスタートしています。これまで計14回のJCCA×JIA協働シンポジウムを開催し、前13回は、「誰が景観を創るのか」と題して、美しい景観を創るために私たち土木と建築が協働することの重要性を様々な視点から研究を行い、前回開催の第14回より新たな一歩を踏み出すため、メインテーマを「土木と建築の協働、その可能性を探る」と改め、知見を深めてきました。第14回シンポジウムではサブテーマを「駅・駅広を中心としたまちづくり事例から一都市・まちを考える」として、私たちが設計のフィールドとする都市空間やまちづくり、それらに関わるコミュニティなどを駅・駅広を中心に考えを深めました。

今、私たちの時代は変革期にあり、SDGsへの取組や脱炭素へのシフトによって、その暮らしや意識が大きく変化しつつあります。さらに人々の「都市・まち」における関心は、より身近なパブリックスペースへと向かっており、より居心地が良く、人間本位で思考された空間や場が求められています。そこで新たなコミュニティが生まれ、人々を元気にして行く、そんな好循環な社会や都市・まちを、コンパクトかつ環境へのインパクトを最小化しながら、思考、創造して行くことは、土木・建築の設計、デザインに関わる私たちにとって、非常に重要な役割と言えます。

第15回目となる今回のシンポジウムは、この変革期において、建築と土木の協働の未来の在り方を議論する場とします。これまでの経験をもとに未来に向けてもっとも躍動するAROUND 40の世代。彼らがこれからどのように都市・まちを考え、関わっていくのか。そして同じく都市・まちに関わる私たちに、今後どのような可能性があるのかを探ります。

第1部 趣旨説明 小野寺 康 都市設計家

話題提供 上條 慎司 都市設計家

『広域的視点からの設計行為の展開』

話題提供 橋本 尚樹 建築家

『つくりかたのデザイン』

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 小野寺 康 都市設計家

パネラー 上條 慎司 都市設計家

橋本 尚樹 建築家

神戸 美由紀 JCCA 土木・建築連携まちづくり専門委員会

佐藤 敦 JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会

日時

2023年3月18日（土）

15:00~17:30

会場

建築家会館本館ホール

渋谷区神宮前 2-3-16 建築家会館 1階

+ONLINE ZOOM ウェビナー開催

※建設コンサルタンツ協会 CPD プログラム
日本建築家協会 CPD プログラム

募集人数

現地参加 30名程度
オンライン参加 200名程度
(いずれも先着順)

参加費

無料

申込み

<https://forms.office.com/r/2MFwF4MGmd>

※参加希望者は、上記 URL もしくは右上 QR コードからアクセス頂き、専用申し込みフォームよりお申込みください。

問合せ

JCCA 土木・建築連携まちづくり専門委員会
JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会
e-mail : jcca_jia@chiyoda-ec.co.jp

主催

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 (JCCA)
公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)



JCCA × JIA

協働シンポジウム

第15回シンポジウム

AROUND 40 が考える

土木と建築の協働とその未来

PROFILE

趣旨説明
コーディネーター



小野寺 康

おの でら やすし

都市設計家

小野寺康都市設計事務所

1962年札幌市生まれ。1987年東京工業大学大学院社会工学専攻修士課程修了。アブル総合計画事務所を経て1993年より現職。都市設計家として街路、広場、水辺等を中心に活動。日南市駅前広場、出雲大社参道「神門通り」、女川町震災復興、東京駅（丸の内）駅前広場・日幸通り等でグッドデザイン金賞、土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞。

話題提供
パネラー



上條 慎司

かみじょう しんじ

都市設計家

上條・福島都市設計事務所

1986年山梨県大月市生まれ。都市設計家、一級建築士。東北大学非常勤講師、法政大学兼任講師。2011年東京工業大学大学院社会工学研究科社会工学専攻修了。小野寺康都市設計事務所（2011-2019）にて女川町震災復興、WACK 女川スタジアム、高山駅前広場、徳山駅北口駅前広場等を担当。2020年より現職。2022年隠岐の島町西郷港周辺地区デザインコンペ最優秀作品に選定。

話題提供
パネラー



橋本 尚樹

はしもと なおき

建築家

NHA [NAOKI HASHIMOTO ARCHITECTS]

1985年愛知県生まれ。京都大学工学部建築学科卒業後、東京大学大学院在学中に Ateliers Jean Nouvel 勤務。修士課程修了後、内藤廣建築設計事務所を経て、2019年より橋本尚樹建築設計事務所主宰（2023年NHAに改称）。主な作品に「玉造幼稚園」、「敦賀の工場」、「丹波山村庁舎」。現在は「2025年大阪関西万博シグネチャーパビリオン」、「久御山町まちづくりセンター」、「女川町認定こども園及び社会教育施設」などが進行中。

パネラー



神戸 美由紀

かんべ みゆき

JCCA 土木・建築連携まちづくり専門委員会

オリエンタルコンサルタンツ

1990年岐阜県生まれ。2013年福井大学建築建設工学科卒業。2015年福井大学大学院建築建設工学専攻修了。2015年に株式会社オリエンタルコンサルタンツに入社。入社以来、駅前広場や公園、道の駅等の計画～設計等を中心に従事。多摩川スカイブリッジで土木学会田中賞を受賞。

パネラー



佐藤 敦

さとう あつし

JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会

日建設計

1981年兵庫県生まれ。2006年九州大学大学院都市共生デザイン専攻を修了後、日建設計に入社。以来、まちづくり構想策定や、都心部の複合都市開発プロジェクトなどに多数従事。現在、都市・社会基盤部門 都市開発グループ アソシエイト。主な担当プロジェクトに渋谷ヒカリエ、KANDA SQUARE、など。一級建築士、再開発プランナー。